

# AWAJI PRESS

45th Anniversary



2007年度スローガン

確かめよう 淡路の礎  
そして45回目の変革

2007 vol.8

## あわじがいちばん!

～知るる、学ぼう、楽しもう～

事前勉強会



**Contents**

<input type="checkbox"/> 理事長雑感	2
<input type="checkbox"/> ショールーム歴代インタビュー	3
<input type="checkbox"/> 地域ミーティング2・事業告知・事業報告	4-5
<input type="checkbox"/> 「あわじがいちばん!」事前勉強会・編集後記	6

**JCI** 社団法人 淡路青年会議所

[www.awaji-jc.or.jp](http://www.awaji-jc.or.jp)



# 雑感

2007年度理事長  
木下 学

みなさんこんにちは、真夏日の続く毎日いかがお過ごしでしょうか。先月末には全国民が注目の参議院選挙が行われ、結果は皆さんご存知のとおり民主党が結党以来、初めて参院第一党になり、自民党は改選議席六十四を三十七に減らし惨敗に終わりました。選挙戦は、自民に「大逆風」が吹く中で行われ、参院第一党となった民主の大躍進は「敵失」に助けられた面も大きいとも言われています。それだけに民主党は「反与党」のためだけの議会運営や審議遅延を慎むべきで、政策論争を通して政権担当能力があるかどうかを国民に示す責務があると考えます。

さて、7月を振り返りますと近畿地区会員大会、サマーコンファレンスへの参加、そしてわんぱく相撲淡路場所において見事優勝されたちびっこ力士達の全国大会出場の応援と、島外に出る機会が多い月でした。わんぱく相撲全国大会での成績は残念ながら1勝止まりでしたが、淡路島の代表として立派な姿でした。必ずや彼らの将来に生きる一日であったと感じました。淡路場所より全国大会までお世話をいただきました後藤委員長率いる青少年育成委員会の皆さん、お疲れ様でした。また、7月は2008年度のスタートともいえる選挙例会が行われました。ほんの少し前に理事長職を拝命したと思うと、もう次年度、時の過ぎる速さをつくづく感じます。次年度体制が勢良くスタートする為にも、今年度残り5ヶ月をしつかりと全うしたいと思えます。月が変わりよいよ対外事業がスタートを致しました。2日にあわじがいちばんの事前勉強会が60名の小学生にご参加をいただき開催されました。

残り約2週間、いま22日の本番に向けて各分野でワークショップが行われています。当日事業を終え、参加した子供たちが心の底から「淡路最高！」と叫ぶことが出来るよう、当日まで、どうかよろしくお願いいたします。淡路JCIが45周年を迎える今年、さらに歴史のある第60回を迎える淡路島まつりの踊り大会に今年も参加させていただきます。60年に渡り島民の皆様にご飽きられることなく、毎年創意工夫を重ね、多くの方々により支えられている、この大会に参加させていただける喜びを、ひしひしと感じた島まつりでした。お世話をいただきました廣井委員長率いる会員委員会の皆さん、お疲れ様でした。

去る8月1日、昭和歌謡史に偉大な足跡を刻んだ作詞家で作家の阿久悠さんがお亡くなりになりました。多くのヒット曲を生み出した淡路島が誇る偉人であることはいうまでもありませんが、その理由として多くの人が「時代を先取りするのが天才的にうまかった」と話されています。時代に非常に敏感で、先を読む能力が非常に優れていた。そして「詞を提供する人の人生までを読んで、詩を作った。」とも言われています。それらによってあらゆるジャンルで多くのヒット曲を生み出されたのでしょうか。阿久先生は淡路島の誇りです。これらの訓えはJCIにおいても共通するものであり、これから展開する対外事業にもしっかりと活かし、しっかりと受け継いで、後世にも伝えつつけて行きたいと思えます。

8月もどうぞよろしくお願ひします。



第60回島祭り



あわじがいちばん！事前勉強会



7月選挙例会

シリーズ  
周年

# 歴代インタビュー

vol.4

第25代理事長

# 吉井康人 先輩

今年度、創立45周年を迎える社団法人淡路青年会議所。その45年間の歴史の中で周年の節目に理事長を経験された歴代に当時の思い出や周年について、そして現役メンバーへの熱い思いを語って頂きました。



Q. スローガンの「燃やせ情熱企業に地域にJCに切り拓こう 新時代への道」を掲げていますがスローガンに、企業という言葉は珍しく感じたのですが、当時の時代背景と吉井先輩の考えを教えてくださいませんか？

まず自分を治めかつ家庭を治め、地域を治め、国家が治まる。  
J.Cマンの根本はまず家庭です。家庭が安定する元は企業にあります。その企業があるのが第一の奉仕です。その余力をもった人間が集まって将来の地域開発をしていく・・・全体が悪くなり、人が集まらなくなると当然地域にも企業にも人が集まらなくなってしまいます。だからこそJCがグローバルな目と小さな視点を持ち合わせて新しい時代を進まなくてはいけないという念いでこのスローガンを掲げました。

当時は企業に余裕がありました。だからこそ将来を見据えての活動の必要性を感じていました。

Q. 当時の事業について教えてください

ナンバーワンセミナーについては委員会単位でメンバー同士があいって企業が対して意見を言い合う・・・本人が気づいている事、気づいていない事を利用者側から見た目線で遠慮せずにとにかく指摘する、助言をする。それがのちにナンパーワンではなくてオンリーワンにならなくてはならないと変わって行きました。地域ナンパーワンでも突然ダメになる事もあります。しかしオンリーワン企業は強い！この部門ではオンリーワンといった物を持っている企業は事実上ナンパーワンなんです。だからオンリーワンになるための工夫をしなくてははいけません。この事業はセミナーとしてももちろん目的は有りましたが、ナンパーワンセミナーという言葉によって、メンバーの意識付けをする事が一番大事と思い、行いました。

大阪湾岸友好JC会については淡路島は大阪湾岸の重要な位置づけにある、だから大阪湾岸の交流が必要であると感じて行いました。前の年に近畿地区の総合企画委員長をさせてもらい、各地域の理事長を知っていたという事もあり実現できました。自分自身で3年前から一市十町会議を行い、島内を固め、知事をよんで県を固めといった地盤を3年かけてつくってからの事業と言う事でしたから大きな意味がありました。

自分の島をまともにつまみ食いになり大阪湾岸では本末転倒ですから。当時の大阪の理事長が「淡路には行かない。大阪でするなら参加する」といった難題？

もあり本当に苦労しました。大きなLOMを動かす訳ですから交渉事は全て理事長の役目でしたから。その時は人脈が本当に大事と感じましたね。そのおかげで各理事長をまとめる事ができましたから。

この事業が後の「アーク・フォーラム88」といった事業へ繋がっていくわけですね。

ちびっこ淡路ものしりウルトラクイズ大会は最初山口崇氏に断られたんです。理由はイベント事には一切出演しないとの事でした。遊びみたいな事と思っていたのでしよう。しかしある所から頼んで頂いたら即OKがとれました(笑)。前日はメンバーと共に淡路島の民話についての勉強会に参加して頂き、当日と計一日間参加頂きました。

当時は山口氏の参加はとて大きな意味もあり、事業終了後は「これはイベントでは無くして立派な事業だ！」と言ってもらいました。商品が当時の高額なものばかりを用意して当時は参加者も多かったですよ・・・親が目の色かえて(笑)やはり参加してもらう為の工夫も必要です。ただしイベントが全面になつてはいけません、形だけでは無く集まった子供達だけではなく、全体にきつちりと伝える事が出来るようにする必要がありますね。

当時はこの委員会事業に出たから俺の時も・・・といった貸し借りがほとんどありませんでした。どの委員会も皆自分の事業！という意識を強く持っていましたから。ですから見に来たい奴は用事は無いけど来いよといった感じでした。



くれなわいわけで、出来るだけシンプルにまとめ、要点のみをきつちり押さえてこうするんやと言った情熱で向かってました。とにかく情熱を持つ事です。しかし今一番情熱を持たなくてはならないのは企業だと思えます。だから時間をもつた方がいい。ですから委員会も短時間で終わらす必要があります。徹夜でやらなさいといけない時も有るわけですから。その為には委員長と副委員長で何をするか決めておこなうてはいけません。委員会はその目標に向かっての段取りを打ち合わせるだけ。それが委員会メンバーの負担を無くし、スリーピングを無くす秘訣だと思います。委員長がどれだけ責任を持つてやれるか！そして逆算ができる力を持つ事・・・その為に必要な力が指導力なのです。

一市運動について

現在の3市は各地域が発言力を高めるための段階にすぎません。JCが一市をあきらめてはいけません。過疎地はほっておいていいのか？各地域はほっておいていいのか？もつと調査研究をする必要があります。その上で提言を行う。たとえば今この地域で「ワイワイ祭」と言う祭りをやっています。合併すると地域の祭りが変わります。中途半端な大きさの祭りは消えて行く

でしょう。だから小さな地域だけの祭りは残るといって思っています。寄付したお金で花火をあげられても見に行けない人達が多くなります。しかし自分達の地域の為だったらお金を持ち寄って参加できるんです。市がこういった地区にすこしの寄付を出すことだけ喜ばれるか・・・それが市の役目だと思えます。このように合併の題意だけを考えずに合併後の本場の住民サービスとは何かとといったところまで考えて提言しなくてははいけません。そういうたひとつ一つをシュミレーションして勉強して・・・出来る出来ないは別としてそういう事をしていかなくてはJCではありませぬ。

『JCは自分達の企業も先行き成り立つように地域を開発する』ために活動する団体ですから。

一貫した考えの元、当時、現在、未来の淡路島・JCについて熱く語って頂きました。

掲載出来ない内容も多々有りましたが淡路島への熱い念いは現役以上の迫力を感しました。

当日は忙しい中工場見学もさせて頂き本当にありがとうございました。

# 2007年度 地域ミーティング

去る8月6日、洲本文化体育館にて才花出向理事が兵庫ブロック協議会・地域のアイデンティティ創造会議にて行っています地域ミーティングが行われました。6月29日に第1回目として兵庫県全体での会議が行われ、県全体を知った上で各地域単位の情報交換や新たなネットワークづくりを目的として開催されており、この度は淡路県民局と淡路JCIによる会議でした。まず初めに理事長挨拶、続いての原田県民局長の挨拶では「JCIは『あわじはひとつ』の理念の元、活動しており、青年達が次代の淡路島をつくる事を期待している」との言葉を頂きました。

才花議長の趣旨説明をへて、協議へと進みました。  
まず2007年度の淡路JCIの事業として後藤、柏木両委員長の事業「あわじがいちばん」  
「淡路島まるかじりフェスタ」について



ての説明を行いました。

その後企画調整部淡路まるごとミュージアム担当の野村参事より県民局が行っている『淡路島まるごとミュージアム構想』について説明頂きました。その後双方の意見交換へと移りました。  
以下抜粋して掲載します。

### 原田局長

・青少年事業の目的は子供達が自分達の間で相手と対話出来る事、そして帰って来てから親や友人にその話が出来ると。

・事業で業者に協力を得られる事が大事。小さな子供達に淡路の宝を教える事ができ、各産業の活性化になる。業者参入型の事業を今後継続してほしい。  
・観光と環境は学問です。JCIの皆さんは各分野の代表者だから当然知っている必要はない。

・国生み神話は単なる神話ではなく、そこに志や念が必要。でないと必ず壊れる。

### 野村参事

・『まるごとミュージアム』と言った言葉をいれて県の事業の名前だけでも知ってもらえる機会になるように協力してほしい。

・『まるごと』では平成14～15年度に行った風土



前川セクレタリー  
・淡路島全体のマスコットやシンボルが必要と思う。

### 青田部長

・JCIの事業では全てをJCIがやらずに8割程度にし、色々な団体をあえて巻き込んで行つてほしい。明石大橋架橋10周年に向けてお互いの連携がこれからはますます必要になってくると思う。

資産の調査を再度精査し、それらの資料を気持ちがおもった物、そしてストーリーで体験できるように形につくりあげたい。  
・大きな資産だけでは無く、小さな地域の資産にもスポットを当てて大事にしていきたい。

### 川上文化会館長

・『国生みの島、淡路島』の語りべ達の学習講座を企画している。  
・島内だけではなく、外へ向かって講座を文字に変えて『語りべ通信』として発信して行きたい。  
・島外の目線で淡路を見ると全然違う、ふるさとを考える淡路会等との連携、仕組みづくりが大事。  
・風土資産を正確に伝える技術を持って、島外へ伝えるように働きたい。

### 橋参事

・淡路島の統一した標語が必要  
・観光ルートのパスがあり、その地に語りべがいる、各地で持続可能なものが必要

### 北畑参事

・明石大橋架橋10周年にからんだ事業をお願いします。  
・県が発行する広報誌も利用してほしい。  
・人口が減少する中で単年制のJCIでも事業を継続していく方法を検討してほしい。

その他淡路牛の金額からアカカミガメの話まで多彩で有意義なミーティングでした。ちなみに私が一番気になったのは以下のやりとりでした・・・

理事長 淡路にはアートさが不足していると感じます。

局長 たとえば漁船の意匠なんかはアートかもしれない。(アートの世界は奥が深い!?)



### 当日参加者(敬称略)

兵庫県淡路県民局長 原田 二三

副局長兼企画調整部長 青戸 忠明

県民生活部長 藤原 純一

地域振興部商工観光・労働担当参事 橋 敏光

企画調整部企画調整・市町担当参事 北畑伊久生

地域ビジョン課長 佐藤 信治

企画調整部 淡路まるごとミュージアム担当参事 野村 明

淡路まるごとミュージアム課長 重金 昭雄

淡路文化会館長 川上志津夫

### 7月選挙例会

総務広報委員会 副委員長 柳 弘一郎  
7月11日 選挙例会が洲本市文化体育館にて行われました。

この選挙は毎年恒例で、7月例会に行われます。2008年度の選考委員を選出する選挙で、来年度の淡路青年会議所を占う大事な位置づけとなっています。

普段の例会とは異なり、何か緊張した雰囲気が始まった例会ですが、下土井君を委員長とする選挙管理委員会のもと選挙が行われました。

結果得票数は、多い順に中川浩明君、松本光之進君、長尾康宏君、野添孝次郎君、才花毅君の順でした。特に大きな問題もなくスムーズな進行ができました。選挙に参加くださいました方には厚くお礼申し上げます。

今後、この選考委員により来年度の組織が作られます。いよいよ2008年度のスタートとなります。



### サマーコンファレンス2007

J a y c e e 研修委員会 委員長 飛松 孝治

7/21~22にかけて横浜にて開催されましたサマーコンファレンス2007に木下理事長をはじめ8人のメンバーで参加してきました。

私は今回で3回目の参加となりますが全国各地のJ・C・マン

が一同に横浜に集まる様は、全国大会とはまた違った雰囲気です。いつも圧倒され

ます。またブロックナイトにも参加させて頂きましたが我が淡路J・Cの次年度体制を「力強く」お披露目させて頂きました。

参加して毎回思うことですが各種セミナー・L・O・Mナイト・ブロックナイトに出席することも重要ですがその道中を大勢のメンバーで過すことが絆を深める素晴らしい機会だと思います。

道中は「笑い」と「食」の絶えない非常に楽しい時間を過ごさせて頂きました。最後にこの2日間で2kg体重が増加したことを報告させて頂きます(笑)



### 第23回わんぱく相撲全国大会

青少年育成委員会 副委員長 仲野 正倫

去る7月28日(土) 29日(日)に両国国技館にて第23回わんぱく相撲全国大会が開催され、

木下理事長、松本専務理事、新田副理事長、木原公室

長、後藤委員長と私仲野と4年生代表、東根 優介君、

5年生代表、上杉潤矢君、6年生代表、喜多 優斗君

とその家族の方々と行ってまいりました。前日はリハ

ールが行われ、後藤委員長と選手

の3人は、松ヶ根部屋(おかみさんは、高田みづえ)にお世話になり、四

股を踏んだり、すり足の練習をしたりと普段経験できないことをさせていただいたそうです。

試合の結果は、東根君は、2回戦からの登場で、持ち味

でもある押し相撲で幸先のいいスタートを切ったのですが、土俵上で上手く身体を交わされ逆転負けをしてしまいました。2回戦で負

わされ、惜しくも、1回戦で負けてしまいました。

東根君、上杉君は来年に向けてがんばってほしいと思います。

いたと思います。



### 島まつり

会員委員会 立木 健介

8月3~5日、第60回目となる「淡路島まつり」が開催され、わが淡路J・Cも参加しま

した。当日は神戸・明石・徳島など他ROMの方々にも数多くご参加いただき賑やかな雰

囲気の中で行われました。本番前には洲本市の厳島神社にて、わが会員委員会の設営した

流しめんや手作りアイスクリームで親睦を深めていただき、暑い中での本番ではこの

日のために練習を積んだ阿波おどりや廣井委員長の方の山車を披露、J・Cの存在を大いにアピールした事と思います。また終了後には、交流会にて盛大に盛り上げるつもりでしたが、準備不足と過労により不発に終わってしまい、申し訳ないです。今回、設営にあ

った我が会員委員会としては、年末に予定されております家族忘年例会にてリベンジするため一丸となって準備を進めていきたいと思

います。暑い中、ご参加してくださいました皆さん、本当にありがとうございました。



**「あわじがいちばん！」**  
 ～知ろう、学ぼう、楽しもう～  
**事前勉強会 報告**  
 青少年育成委員会 村松 克彦



のみとはいえ、台風以上に激しい一日でした。後藤委員長の子供たちへの素晴らしい接し方に刺激を受け、委員会メンバーも子供たちと同じ目線で溶け込むことができました。子供たちの無垢な笑顔、感心している表情を見ると、「この事業をして良かった、大阪に行っても、しっかり子供たちの気持ちを伝えられるよう努力せねば」と感じました。

今後は、ワークショップでの体験・学習を通じ子供たちの各部門への理解度を深め、そして8月22日の



8月2日、台風が近づくと、青少年育成事業「あわじがいちばん！」事前勉強会が開催されました。子供たちの淡路島への愛が深まるよう、淡路島の素晴らしい点に気づいてもらう事と、今後に行う体験・学習の事前準備が目的です。

大阪でそれを多くの方に発信し、淡路島への愛を深めてもらえるよう委員会メンバー一同努力してまいります。メンバーの皆様におかれましては、ご多用とは存じ上げますが、是非ともご参加頂きますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、8月2日、不備の多い設営のご協力いただきました皆様にご感謝申し上げます。



**事業告知**

**後期入会説明会**

**会員拡大!!**

総務広報委員会

副委員長 柳 弘一郎

夏真っ盛りの季節となりました。淡路青年会議所では入会する会員を募っています。2008年度入会へ向け、メンバー一同会員拡大活動を続けております。入会候補者の皆さんには後期の入会説明会（9月14日に予定）に参加いただき、淡路青年会議所への入会をお勧めする予定です。

つきましては、メンバーの方の更なる活動をお願いするとともに、OBの方におかれましても、お近くに候補者となるような方がいらっしゃいましたら、ぜひメンバーへご一報ください。

よろしくお願いいたします。

**才花 出向者の動き**

（社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会 地域のアイデンティティ創造会議議長）

- 8月9日（水） 但馬地域ミーティング
- 8月24日（金） 知事との懇談会
- 9月2日（日） 兵庫ブロック会員大会
- 9月8日（土） 地域のアイデンティティ創造会議 委員会

**畑野 出向者の動き**

（社団法人日本青年会議所 近畿諸国歴史検証委員会）

未定

**JC NOW**

- ・審議事項
  - (1) 6月コーチング例会事業報告並びに決算報告の件
  - (2) Jaycee 研修事業～Jayceeの汗が星なる～ 事業報告並びに決算報告の件
  - (3) 淡路島まつり踊り大会の件
  - (4) 8月会員親睦例会の件
  - (5) 2008年度理事長予定者承認に関する件
  - (6) 2008年度監事予定者承認に関する件
  - (7) 2008年度理事予定者承認に関する件
  - (8) 第49回臨時総会の件
  - (9) 第49回臨時総会提出議案の件
  - (10) 「あわじがいちばん！」～知ろう、学ぼう、楽しもう～の件
  - (11) 事務局員夏期休暇の件
- ・協議事項
  - (1) 9月淡路の歴史発見例会の件 [2/2]
  - (2) 10月経営例会の件 [1/2]
  - (3) 後期入会説明会の件 [2/2]
  - (4) 感動「島」体験！淡路島まるかじりフェスタ [3/3]

**編集後記**

夏本番をむかえ、蒸し暑くなってきました。早くも夏ばて・・・ってな事にならないよう気をつけてください。

サマコン、青少年事業（勉強会、島祭り）と怒濤のごとく2007年度の事業が開催されているこの時期、その一方で7月選挙例会で選出された選挙委員によって2008年度の体制が検討され、8月例会後の臨時総会によって次年度がスタートします。どうしても次年度に意識が行きがちですが、22日の「あわじがいちばん！」そして本年度のメイン事業であります憧れの島創造事業へ向けてメンバー全員でがんばりましょう!!

我が総務広報委員会は・・・といいますが、記念冊子・後期入会説明会等々まだまだ2007年度まだまだ中、全てにおいて全力でがんばりますのでご協力よろしくお願いいたします。